

目次	第9回大会のご案内	379
	第9回大会の概要 / 原田 浩(第9回大会準備委員長)	379
	講演会, ミニシンポジウム	380
	ワークショップ	380
	大会参加, 研究発表申込	380
	会員通信	381
	雲南の地衣を食う虫 – シラホシコヤガ? / 原田浩	381

### 第9回大会のご案内 Announcements of JSL 9th Annual Meeting

原田 浩 (第9回大会準備委員長) / by Harada H.

#### ◆◆ 第9回大会の概要 ◆◆

第9回大会は、下記のとおり、千葉県立中央博物館にて開催する運びとなりましたので、ご案内いたします。

\* \* \*

1. 会期： 2010年7月10日(土)～11日(日)，  
+ [ただし7月12日(月)は関連行事：地衣分類ワークショップ]

2. 会場： 千葉県立中央博物館

3. スケジュール (予定)

#### 7月10日(土)

- 10:00～12:00 評議員会(会議室)
- 12:00～13:00 昼食(会議室, 研修室等)
- 13:00～14:00 公開講演会(講堂)  
木下 薫(明治薬科大学)「地衣類と薬」(仮題)
- 14:15～15:30 総会(講堂)
- 15:45～17:00 研究発表(講堂)
- 18:00～20:00 懇親会

#### 7月11日(日)

- 10:00～12:00 研究発表
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 ミニシンポジウム「東アジア産  
痂状地衣の分類研究における進展 (Progress in

taxonomic studies on crustose lichens of East Asia)」(仮題)。

14:15～16:00 研究発表

#### 〈関連行事〉7月12日(月)

地衣分類ワークショップ「狭義ウメノキゴケ属 (*Parmotrema*) と近縁属」(仮題)

#### 4. 交通

JR千葉駅東口からバスをご利用ください。①7番乗り場から京成バス「大学病院」「大学病院・南矢作」行きに乗り約15分、「中央博物館」で下車し、徒歩7分です。②6番乗り場からちばシティバス「川戸都苑」行きに乗り約15分、「中央博物館」で下車し、徒歩7分です。③2番乗り場から千葉中央バス「中央博物館」行きに乗り約20分、「中央博物館」ではなく、終点「博物館・文化ホール」で下車し、徒歩1分です。①の本数は多く、③は少ないです。

博物館の駐車場は台数が限られますので、原則としてご利用いただけません。博物館の目の前には、有料の「青葉の森公園 北口駐車場」がありますが、近隣施設でイ

イベントが開催されることも多く、そのときには満車となりますので、少し離れた西口駐車場（こちら満車になりやすい）、公園の反対側にある（徒歩15分）南口駐車場をご利用いただくことになります。

地図、時刻表等は博物館のホームページの「交通案内」のページをご覧ください。

⇒ <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

## 5. 宿泊

千葉駅周辺のホテルが便利です。特に斡旋はいたしません。

## ◆◆ 講演会，ミニシンポジウム ◆◆

### 1. 公開講演会「地衣類と薬」（仮題）

明治薬科大学の木下薫先生に、地衣類と薬について話題を提供していただきます。学会員以外も自由に聞くことができる公開講演会です。

### 2. ミニシンポジウム

「東アジア産痂状地衣の分類研究における進展 (Progress in taxonomic studies on crustose lichens of East Asia)」(仮題)。

日本産の地衣類を見ると、大型の属では一通りの分類研究がなされた一方で、痂状地衣ではこれまでほとんど研究が進んでいなかった分類群も多数残されています。しかし、そのような痂状地衣も徐々にではありますが分類研究が進んでいます。今回は、最近、研究が始められ顕著な成果が上がりつつある、日本と韓国の痂状地衣の分類研究の話題を提供します。

1) Yogesh JOSHI (韓国, Suncheon National University) : "Preliminary studies on maritime lichens of South Korea"

2) 坂田 歩美\*・原田 浩\*\* (\*千葉県立中央博物館共同研究員・\*\*同 植物学研究所) : 日本産リトマソグケ科地衣類の分類

## ◆◆ ワークショップ ◆◆

地衣分類ワークショップ「日本産 狭義ウメノキゴケ属 (*Parmotrema*) と近縁属」(仮題)

大会終了の翌12日(月曜)に、大会の関連行事として、また博物館との連携事業として実施します。

1) 場所: 研修室。当日は休館日ですので、業務用入り口からの入館となります。

2) 時間: 9:00~16:00

3) 募集人数: 約20名。(メールによる事前申し込み)

4) 内容:

学会の「日本の地衣フロラ解明プロジェクト」では、図鑑改訂作業を進め、既にツメゴケ属についてはまとめられ、*Lichenology*誌上に掲載しました。ただいま、ウメノキゴケ科について作業を進めているところですが、その一環としてワークショップを実施します。高橋奏恵氏(千葉県立中央博物館共同研究員)が狭義ウメノキゴケ属と近縁属について、日本産種の分類について紹介します。また、標本を用いて実体顕微鏡による観察も行います。

5) 持ち物: ご自身でお使いになる、ピンセット、筆記用具、文献等はお持ちください。該当する標本をお持ちの方は、なるべく持参お願いします。多量にお持ちで、事前にお送りいただける場合には、原田宛にお送りください(着払い不可)。

6) 申込: 件名を「分類ワークショップ申し込み」としてメールにて原田宛にお申し込みください。

## ◆◆ 大会参加，研究発表申込 ◆◆

### 1. 大会参加申し込み

書式1を大会準備委員長(原田)あてに、件名を「大会参加申し込み」としてメールにて送信してください。一次締め切りは6月10日です。

申し込まれた情報をもとに参加予定者名簿を作ります。登録されたメールアドレス宛に、大会準備委員長(原田)から大会に関する最新情報をお届けいたします。

### 2. 研究発表申し込み

書式2を大会準備委員長(原田)あてに、件名「研究発表申し込み」としてメールにて送信してください。締め切りは6月10日です。



雲南の地衣を食う虫 — シラホシコヤガ? / 原田 浩 (千葉県立中央博物館)

Lichen-eating caterpillars in Yunnan, China / by Harada H.



シラホシコヤガという蛾の幼虫が地衣を食うことは、本誌でも既に何度か報告されたが、同じような虫を雲南で3回見つけた。調査に行ったのは2009年2月、南西部方面の照葉樹林域で撮影した写真の一つが上の図、日本

のシラホシコヤガと良く似て地衣の顆粒を体に付け擬態しているが、同一種かどうかは門外の私には判らない。しかし、少なくとも雲南で確認した3回の中には、2種が混じっているように思われた。

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378ページに、

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 103, pp. 379-382: eds. Harada H. & Kinoshita K., published by the Japanese Society for Lichenology, 16 May 2010.

日本地衣学会ニュースレター 103号

発行日：2010年 5月 16日

編集：原田 浩・木下 薫

発行者・発行所：日本地衣学会

〒203-0021 東京都清瀬市野塩 2-522-1

明治薬科大学 生薬学教室内

©2010 日本地衣学会 (© 2010 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複製等は固くお断りいたします。